



平成29年 栃木県開催決定！ 技能五輪全国大会

平成29年度技能五輪全国大会が栃木県で開催されることが決定した。技能五輪全国大会は、さまざまな技能を身につけた若年技能者が技の日本一を競う競技大会です。

平成28年度入校生（現在高校2年）は在校中に栃木大会の代表選手になる大チャンス。地元開催の大会で技能五輪の歴史に名を刻むのは「あなた」。チャレンジャーの入学を待っている。



技能五輪全国大会（愛知県）開会式

日本一へ産技校で「チャレンジ」

栃木県公館で行われた栃木県選手結団式で健闘を誓う3選手、左から栗原選手（彫刻専攻）、早乙女選手（鹿沼商工高卒）、古口選手（宇都宮商業高卒）



配管曲げに奮闘する古口選手

大会に参加した古口選手は「いざ会場へ入ると、予想以上の緊張感に襲われ、実力を発揮することが出来なかった。しかし、競技が終了した瞬間、これまでの練習や指導してくれた先生、応援してくれた仲間たちのことが頭に浮び、感動のあまり涙してしまいました。」と話してくれた。

11月28日から12月1日にかけて愛知県で開催された技能五輪全国大会に本校から3名の学生が栃木県代表選手（今大会は8職種²³選手）として出場した。3名とも栃木から応援に駆けつけたクラスメートの声援を背に、全力で大会に挑んだが惜しくも入賞には一歩及ばなかった。

応援を力に、3選手の健闘光る



2015 春号

【編集・発行】

栃木県立県立産業技術専門校本科
愛称：栃木県立産業技術大学校
「産技大通信」編集委員会



〒321-0905
栃木県宇都宮市平出工業団地 48-4
TEL：028-689-6374
FAX：028-689-6377
<http://www.tochigi-it.ac.jp/>

学校の「いま」を配信中！



県央校公式ブログ

入試情報 2015

Admissions information

【募集科】

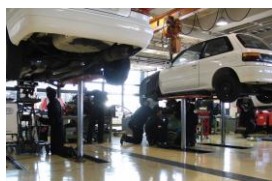
○機械技術科
○制御システム科
○建築設備科
○情報ネットワーク科
※定員を満たした科についての試験は実施しません。必ず応募状況を県立産業技術専門校へご確認の上応募してください。

【試験日程】

○第4回一般入校試験
応募期間 平成27年3月12日（木）～24日（火）

試験日 平成27年3月27日（金）
合格発表 平成27年3月30日（金）

【応募に関する問い合わせ先】
栃木県立県立産業技術専門校
総務課
kono-sgs@pref.tochigi.lg.jp



○仕事に直結した設備

実際の就職先で使用する実習機材がそろっており、実践的な技能の習得が出来ます。だから就職後は即戦力としてバリバリ働けます。

○個別指導が受けられる

経験豊富な先生が多く、少人数で技能レベルごとに懇切丁寧な指導を受けられるので、未経験者でも技能向上間違いなし。



○授業の中で資格をゲット

もちろんテスト勉強は必要ですが、毎日の授業や実習を真面目に受けているだけで、フォークリフトなど数多くの資格がとれました。各種特別教育、技能講習は無料でした。



産技校 入校したら

こんなトコだった！

○厚生労働大臣から表彰される

若年者ものづくり競技大会の選手として頑張った大会にチャレンジしたら敢闘賞を受賞できました。貰ってビックリ！厚生労働大臣名の賞状でした。



○学費が楽になりました

授業料は月額 19,800 円ですが、減免の制度があり、総務課に家計の事を相談したら、授業料の減免が適用になりました。

※ 減免には所得等の審査が必要です。詳しくは総務課までご相談ください。

○就職心配なし

ジョブカード・キャリア・コンサルタントの資格を持った先生が親身になって相談に乗ってくれ、今まで気が付かなかった自分の強みを発見し、就活に自信を持って望めました。

OPEN SCHOOL

～ モノづくりのエキスパートへ ～

3月6日(金)
開催決定！

午前の部 10:00 ～ 12:00
(受付 9:30～)
午後の部 13:00 ～ 15:00
(受付 12:30～)



ツアー形式で学校内を案内します。

・予約不要
・誰でも参加OK

※平成27年度の実施予定日 オープンスクール：5月16日、6月20日、7月11日 一日体験学習：8月20日（実施日は変更する場合があります。事前にホームページでご確認ください。）



Name
村上風吹
Course
建築設備科
High school
高根沢高卒

水道配管系内定

産技校に入校して、建築設備を学ぶ中で、快適な暮らしを人々に届けることに魅力とやりがいを感じました。先生に就職の相談をすると、親身に相談に乗ってくれ、就職試験に関して、多くのアドバイスをいただきました。また、就職試験対策もしっかりサポートしていただき、自信をもって就職試験に挑むことができ、希望していた職種に内定をいただくことができました。今までこの学校で学んだことを活かし、チャレンジする気持ちを常に持ち、立派な社会人になります。

内定者の声



Name
小椋雅喜

Course
制御システム科



High school
文星芸術大学付属校卒

自動車部品設計関係内定

産技校に入って初めに思った事は、「この学校でやっていけるのだろうか」でした。理由は、専門科目の授業が多くあり、授業名をただで難しそうだと感じたからです。しかし、先生方は丁寧に勉強を教えてくれ、授業の理解度が増し、勉強が楽しいと感じました。様々な知識と技能を身に付け、これらを自身の強みの軸とし、就職活動を行うことで内定を頂くことができました。私が大きく成長し、内定をいただけたのは、学校の環境や先生、仲間たちに恵まれていたためだと思います。



自動車整備科 1 年生と完成した車両

→ 各科メダリスト



みます。

まだ 1 年生ながら、高い技能を持つており、今後の成長に期待が膨らみます。

競技終了後に、皆で健闘を称え合う姿は、学生ではなく一人前の技能者のようでした。

大会では、白熱した競技が各実習場で繰り広げられ、完成した製品は、どれも完成度の高かったです。

学生たちはこの大会を一つの目標として練習を重ね、技能を磨き、その技を存分に発揮していました。そのため、大会では、白熱した競技が各実習場で繰り広げられ、完成した製品は、どれも完成度の高かったです。

入賞者

優勝

機：渡邊裕介（鹿沼東高卒） 制：中原伸吾（黒磯高卒） 自：鈴木大翔（馬頭高卒）
建：木村優太（宇都宮白楊高卒） 情：海老原徹（矢板高卒）

第二位

機：飯倉竜太（宇都宮工業高卒） 制：山本純平（高認） 自：小室慶輔（日本大卒）
建：小野澤佑真（高認） 情：滝沢涼太（矢板高卒）

第三位

機：正田瑞穂（矢板高卒） 制：篠崎健太郎（足利清風高卒）
自：小野崎康太（矢板高卒） 建：脇村貴大（宇都宮白楊高卒） 情：木村知志（小山城南高卒）

敢闘賞

機：西翔大（高根沢高卒） 小澤康宏（宇都宮工業高卒）
 棕本誠仁（矢板中央高卒） 我妻裕太（今市高卒） 後藤直人（茂木高卒）
 制：高山宙士（宇都宮白楊） 間島尚斗（小山北桜高卒） 神長隆宏（那須拓陽高卒）
 自：安齋竜二（黒磯高卒） 大金真樹（馬頭高卒） 小林史明（矢板高卒）
 建：桑添竜弥（宇都宮工業高卒）
 情：鈴木啓祐（小山高専修了） 螺良光（那須清峰高卒）

※機：機械技術科 制：制御システム科 自：自動車整備科 建：建築設備科 情：情報ネットワーク科を示しています。

決定 産技 No.1 技能者

校内技能競技大会開催



ものづくり チャレンジ プロジェクト

走れ、産技の技能と意思を乗せて

今年度から本格始動した「ものづくりチャレンジプロジェクト」。テーマは、「ミニ蒸気機関車の完成を目指す」です。平成 29 年の完成を目指し、学校一丸となって取り組んでいます。



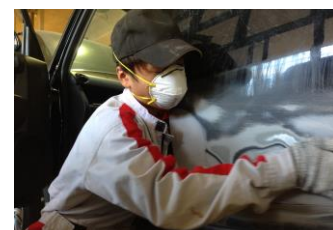
現在、機械技術科が中心となつて機関車の蒸気エンジンと走行装置を製作中です。今後、全科の技能を合わせて駅舎やレール等の製作に入ります。校内を走る機関車の姿を想像すると、完成が待ち遠しいです。

磨かれる感覚と見る力

講師のアドバイスを熱心に聞き、試行錯誤しました。最初は、なかなかコツをつかむことができませんでしたが、作業を進めていくと、感覚をつかみ、上達しました。車が完成する頃には、見る目も養われ、今まで見えていなかった凹みや歪みも見えるようになり、大きく成長しました。学生は、「完成した車のクオリティに喜びと充実感を感じました。」と話してくれました。

産技の流儀

— エキスパートへの道 —



作業の様子

産技大祭

インクメン No.1 決定

産技校の年に一度の祭典「産技大祭」が、11 月に開催されました。毎年大盛況の産技大祭。例年人気の「アトラクション」、「ものづくり体験教室」は今年も多くの方に来場頂き、大盛り上がりでした。また、今回から産技大祭の目玉の一つとして開催されることとなった、「イクメンコンテスト」も多くの人に楽しんでいただきました。



宇野太郎（小山南高卒）

見事優勝に輝いたのは、建築設備科 1 年生の宇野太郎君でした。この結果に、「見に来てくれた方全員に感謝しています。」とコメントしてくれました。